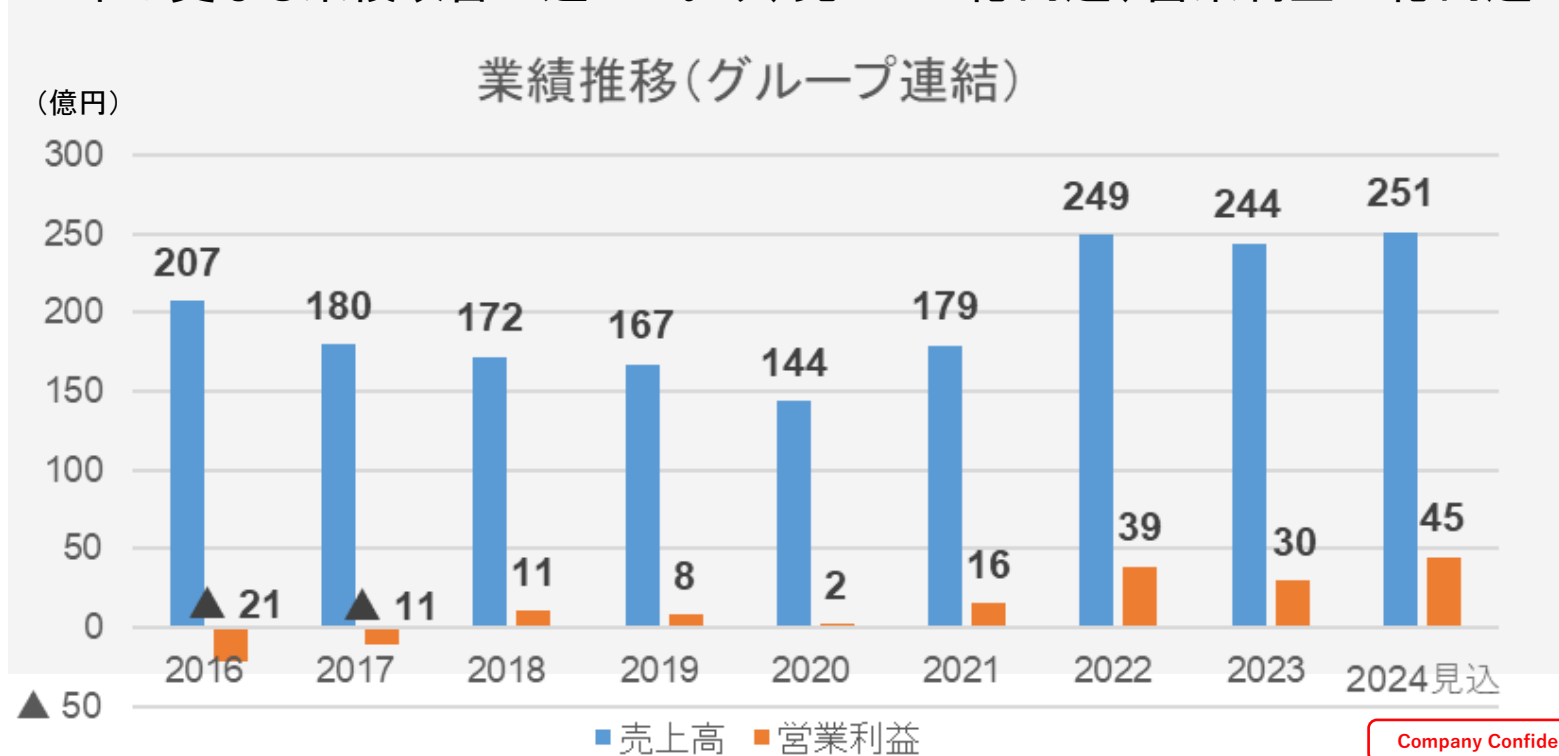


## 中期経営計画 IPO及び新本社・新工場建設計画見直し ~Orbrayの更なる発展に向けて

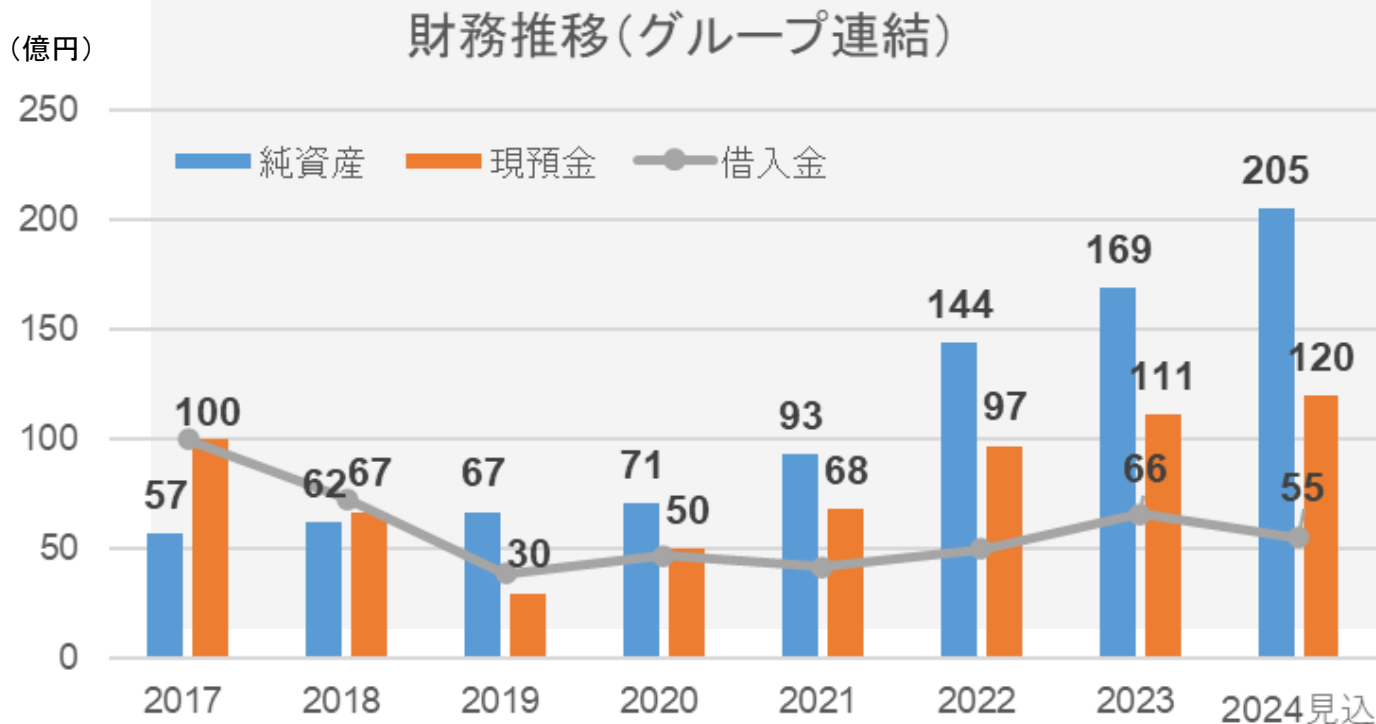
2024年7月

- 2020年にコロナ影響で減収減益となるも、主要事業を中心に売上が成長し、2022年売上・営業利益は249億円・39億円と大幅改善
- 2024年は更なる業績改善が進んでおり、売上251億円超、営業利益45億円超の見込



# 弊社財務推移（グループ連結、2017年以降）

- （財務の健全性を表す）純資産は、2017年：57億円⇒2024年：205億円へと大幅改善
- 借入金は、2017年：100億円⇒2024年：55億円へと大幅削減
- 足元の現預金は、120億円を確保



業績改善・財務改善  
及び事業成長により  
中期経営計画・新本  
社・新工場建設計画  
を見直し

## 1. 売上400億円・営業利益50億円への事業成長

- ✓ 150億円超の新規大型案件、2029年売上400億円を計画

## 2. 成長を果たす上での課題：グローバル化・大会社化・更なる財務改善・次世代技術開発・本社機能強化への対応

- ✓ 企画・海外・CSR・ESG・IPO・IT・DX・技術など体制強化

## 3. IPO・プライム上場（2029年）

- ✓ 最大100億円の資金調達、更なる財務体質改善
- ✓ オーナー経営は継続（オーナーにて過半の株式所有）

## 4. 新本社・新工場建設計画見直し

- ✓ 湯沢第二・横手工場の存続。建設工事の一部前倒し

## 5. 従業員待遇改善

- ✓ 年率3.3%以上賃上げ、手当改善など

事業成長・グローバル化・IPO・新本社新工場建設・待遇改善を実施し、グローバルメーカーとしてステージアップ  
2030年以降の更なる成長の基盤作りを実現

# 更なる事業成長(2025年~2029年) (2029年売上400億円、営業利益50億円)

事業再生計画期間

Orbray  
社名変更

更なる事業成長(売上400億円)

(億円)

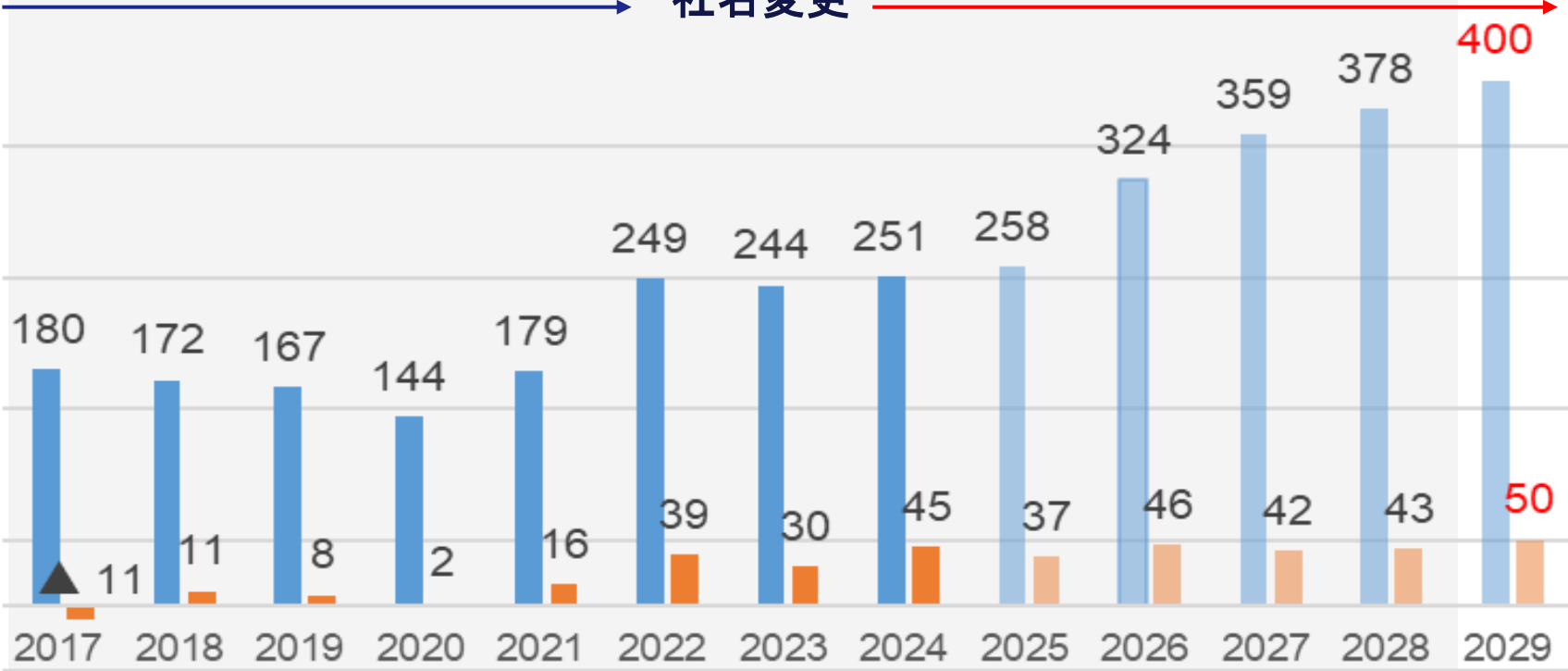
350

250

150

50

▲ 50



■ 売上高 ■ 営業利益

単位: 億円	2024 見込	2029 計画
フォトニクス(横手工場)	75	95
精密宝石(湯沢工場)	50	100
ダイヤ(湯沢工場)	1	20
その他(黒石・タイ工場)	126	185
<b>売上計</b>	<b>251</b>	<b>400</b>
<b>営業利益</b>	<b>45</b>	<b>50</b>
<b>従業員数(人)</b>	<b>2,000</b>	<b>2,400</b>

主要施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 売上150億円超の新規大型案件による成長                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- サファイア基板加工(売上50億円)</li> <li>- パワー半導体用新素材加工(売上30億円)</li> <li>- データセンター用2Dファイバレイ(売上20億円)</li> <li>- 人工ダイヤモンド(売上20億円)</li> <li>- 医療向けモーター(売上20億円)</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 引続き更なる売上成長を軸に、積極投資及び人員増強を図っていく</li> <li>✓ 湯沢・横手工場の売上が今後大幅増加する中、新工場への工場集約計画を見直し(湯沢第二工場・横手工場の存続)</li> </ul>

## グローバル化・大会社化への対応

- ① グローバル化対応(海外売上、18年:60億円⇒29年:250億円)  
✓ 海外体制強化、グローバル基準のCSR・ESGなど対応強化
- ② 大会社化への対応(会計監査人監査、内部統制強化など)

## 更なる財務改善

- ① 資金調達が多様化(銀行借入以外の調達強化)
- ② リスクマネジメントの強化  
✓ シリコンサイクル・リコールなど損失に耐え得る財務体質強化

## 次世代技術開発への対応

- ① 各種基板育成・加工及び光通信部品など競争力強化(新本社)
- ② 2030年以降の成長に向けた次世代技術開発強化(東京)
- ③ 医療向けの技術開発強化(黒石、タイ)

## 本社機能強化

- ① 不足機能の補充  
✓ 企画、海外、CSR・ESG、IPO準備、IT・DX、現地対応など
- ② 新本社・東京のダブル本社体制

事業成長・グローバル化・IPO・新本社新工場建設・待遇改善を実施し、グローバルメーカーとしてステージアップ  
2030年以降の更なる成長の基盤作りを実現

## 1. 更なる事業成長

- ✓ 資金調達(最大100億円)⇒2030年以降の事業成長に繋げる
- ✓ 更なる財務体質強化(2029年の純資産:450億円超)
- ✓ 自社株を活用したM&A・アライアンス(資金負担無し)

## 2. 信用力向上、PR・採用強化

- ✓ 取引先などステークホルダーの信用力向上、PR・採用強化

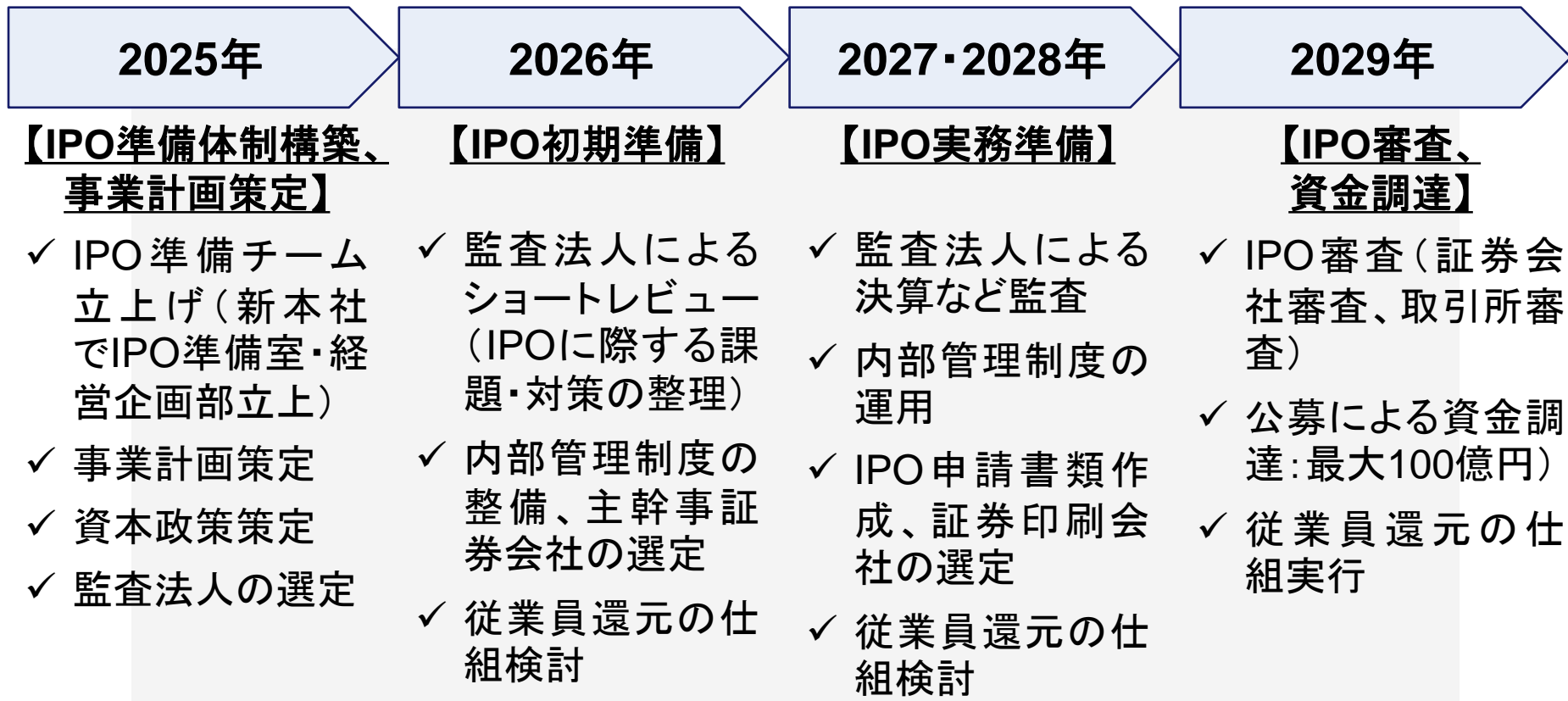
## 3. グローバル化・大会社化への対応

- ✓ グローバル化・大会社化への対応(グローバル基準のCSR・ESG、会計監査人監査、内部統制強化、決算公告など)

## 4. 経営の透明性向上、従業員の待遇改善

- ✓ 経営の透明性向上、オーナー経営は継続(過半の株式所有)
- ✓ 従業員への還元強化(福利厚生及び持株制度改善など)





※ 上記一連のIPO準備対応に関して、トップの陣頭指揮にて新本社にてIPO準備室・企画・海外・CSR・ESG・IT・DX部署などの立上げ・採用を実施

# 新本社・新工場建設計画見直し(1/2)

## (湯沢第二・横手工場の存続、新本社・新工場建設一部前倒し)

【2024年7月現在】

### 【湯沢工場(190名)】

- ✓ ダイヤ
- ✓ キャピラリー・ノズル・精密など
- ✓ サファイア基板加工最終工程

### 【横手工場(345名)】

- ✓ 光部品(フェルールなど)
- ✓ 光通信(ファイバアレイなど)
- ✓ デンタルブロックなど

### 【湯沢第二工場(57名)】

- ✓ サファイア基板加工
- ✓ 新素材加工

### 【TRAD(70名)】

- ✓ レコード針
- ✓ 時計部品

【2026年~2027年】

### 【新本社・新工場(280名~300名)】

- ✓ ダイヤ
- ✓ キャピラリー・ノズル・精密など
- ✓ 新素材加工
- ✓ 新本社(本社サイト、技術サイト)
- ✓ 共用棟(品証・購買・物流・会議室・食堂など)

### 【横手工場(300~320名)】

- ✓ 光部品(フェルールなど)
- ✓ 光通信(ファイバアレイなど)
- ✓ デンタルブロック
- ✓ 医療のBCPなど

### 【湯沢第二工場(94名)】

- ✓ サファイア基板加工(最終工程移管)⇒一貫加工ライン

### 【TRAD(70名)】

- ✓ レコード針
- ✓ 時計部品

## 1. 湯沢第二工場の存続(増強)

- ✓ 湯沢第二工場は集約せずに増強投資を実施。加えて、湯沢工場より一部工程(完成工程)を第二工場へ移管し、サファイア基板の一貫加工ラインを構築

## 2. 横手工場の存続

- ✓ 横手工場は維持存続。ファイバ及びデンタルなど強化。一部部署(技術、間接)の移動及び医療のBCPにつき今後検討

## 3. 新本社・新工場建設一部前倒し

- ✓ 2026年末前後に新本社(本社サイト)竣工(新工場棟・(開発サイト):27年末前後)

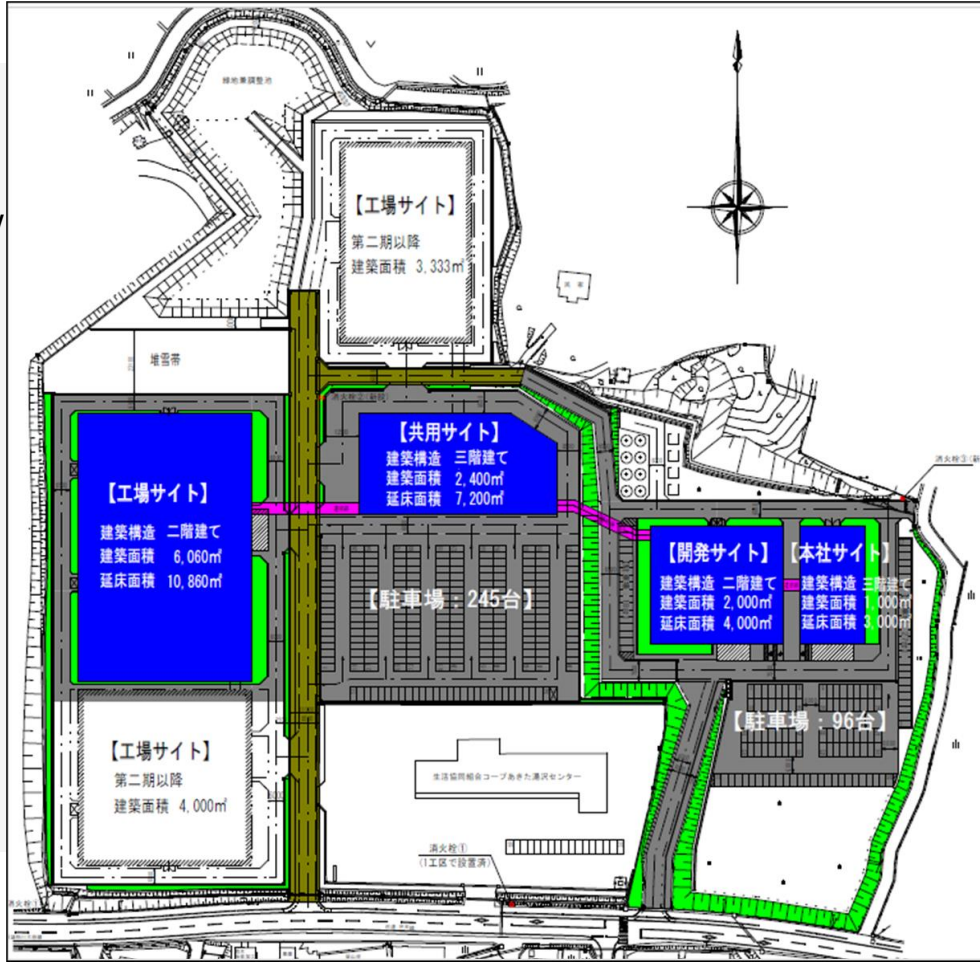
# 新本社・新工場建設計画見直し(2/2)

## (湯沢第二・横手工場の存続、新本社・新工場建設一部前倒し)



- ✓ 2026年末前後に新本社棟(本社サイト)竣工(新工場棟・新本社棟(開発サイト): 2027年末前後竣工)
- 新本社棟は変更無し(本社サイト三階建/開発サイト二階建、7,000㎡)
- 新工場棟工場サイト一部建設前倒し: 湯沢工場及び湯沢第二工場の一部を移管(高棟・二階建、10,860㎡)
- 共用サイト建設前倒し(三階建、7,440㎡)
- 駐車場は平置き(341台)
- 本稼働時の従業員数は、最大300名前後を想定

※ 総投資額は、100億円前後  
※ 大規模成長投資補助金は二次申請対応中(補助要件:2026年までの完工・検収)



## <新本社棟>

本社サイト	: 3,000m <sup>2</sup>
開発サイト	: 4,000m <sup>2</sup>

## <新工場棟>

工場サイト(湯沢工場及び湯沢第二工場の一部を移管)

高棟	: 750m <sup>2</sup>
二階建	: 9,600m <sup>2</sup>
(隣接簡易建屋	: 510m <sup>2</sup> )
共用サイト	: 7,200m <sup>2</sup>
(隣接簡易建屋	: 240m <sup>2</sup> )
<b>合計</b>	<b>: 24,550m<sup>2</sup></b>
(隣接簡易建屋含	<b>: 25,300m<sup>2</sup></b>
その他平置き駐車場(341台)	

- ✓ 東京とのダブル本社体制、東京は従前同様の役割、新本社は両工場の技術・管理本部に加え、企画・海外・CSR・ESG・IPO・IT・DXなどの成長対応がメイン

## 【東京(BIZ除く)】

130名

- ✓ 従前同様の役割
- ✓ 人事総務、法務・コンプライアンス、教育研修、財務、システム、広報、経営管理
- ✓ フォト技術
- ✓ 研究開発本部
- ✓ 医療装置、ダイヤ

## 【新本社】130~150名

- ✓ 両工場の技術・管理本部に加え、企画・海外・CSR・ESG・IPO・IT・DXなど成長対応

### 【本社サイト】


50~60名

- ① 両工場管理本部(総務・物流除)  
25名前後
- ② 新規採用(企画・海外・CSR・ESG・IPO・IT・DXなど)20~30名

### 【開発サイト】

80~90名

- ① 両工場の技術開発・生産技術及びダイヤモンド研究所80~90名
- ② ダイヤ・新素材など体制増強



売上800億円  
営業利益100億円  
国内屈指のグローバルリーディングカンパニーへと発展

売上400億円  
プライム上場  
グローバル成長

売上250億円  
事業再生  
計画期間

## 2040年 売上800億円、営業利益100億円

- ✓ ダイヤの成長 (Elementsix提携など世界展開強化)
- ✓ 医療の成長 (北米医療大手以外・北米以外の展開)
- ✓ 光通信の成長 (データセンター・医療・半導体など強化)
- ✓ 新素材の成長 (新規の販売先・素材への取組)
- ✓ 研究開発 (モーター、多孔質セラミック、酸化ガリウム、多芯高精度フェルール、車載光接続、自己形成光導波路など)
- ✓ 国内外体制の強化、M&A・アライアンス強化

## 2029年 売上400億円、営業利益50億円

- ✓ 150億円超の新規大型案件、体制強化
- ✓ IPO・プライム上場、新本社・新工場建設
- ✓ 更なる事業成長・財務改善、従業員待遇改善

## 2023年 売上244億円、営業利益30億円

- ✓ 2018年の旧2社合併、抜本的な構造改革
- ✓ 医療・モーターなど業績改善、従業員待遇改善
- ✓ 3代目(並木里也子)への事業承継、社名変更

# 今後のスケジュール

設計会社・建設  
会社へ確認中

7月末まで	設計会社様・建設会社様へのヒアリング
8月上旬	設計業務スタート
2025年春	不動産所有権移転登記
2025年8月前後	新本社棟の建設工事着工
2025年10月前後	新工場棟の建設工事着工
2026年12月末前後	新本社棟(本社サイト)の竣工
2026年12月末まで	本社移転登記
2027年12月末前後	新工場棟・新本社棟(開発サイト)の竣工

※ (現在設計会社様・建設会社様へヒアリング中ですが)2024年以降は全国的に設計会社様・建設会社様の稼働が大変タイトであり、設計・施工スケジュール後倒しの可能性が相応に有ります。特に、秋田県南地域では、今後に多数の公共工事が予定されている事及び2024年問題などにより、例年以上に建設会社様の稼働がタイトであり且つ工期が例年以上に所要する旨、お伺いしております(新本社棟の工期:1年半以上、新工場棟の工期:2年以上)

※ 新本社棟及び新工場棟ともに、なるべく早期に建設業務をスタートする必要があります